



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社フォーサイド 上場取引所 東
 コード番号 2330 URL http://www.forside.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 假屋 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 潔 TEL 03 (6262) 1056
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	146	△26.8	2	—	9	—	3	—
28年12月期第1四半期	200	△11.9	△55	—	△68	—	△69	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 3百万円 (—%) 28年12月期第1四半期 △70百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	0.15	0.15
28年12月期第1四半期	△2.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	1,644	898	54.2	35.30
28年12月期	1,205	895	73.7	35.17

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 891百万円 28年12月期 888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成29年12月期の配当予想は今後の業績見通し等を踏まえて判断することにしていないため未定であります。

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,504	274.8	100	316.7	104	153.7	57	67.7	2.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社（社名）株式会社ブレイク 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期 1 Q	25,281,504株	28年12月期	25,281,504株
② 期末自己株式数	29年12月期 1 Q	11,894株	28年12月期	11,234株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期 1 Q	25,269,912株	28年12月期 1 Q	23,604,810株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得などは引き続き堅調に推移しているものの、米国の新大統領政権誕生によるリスク、英国のEU離脱問題など為替や株価の不安定さが懸念され、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社の事業領域である、スマートフォン向けビジネスを取り巻く環境につきましては、平成28年12月末時点で携帯電話契約数は1億6,070万件（社団法人電気通信事業者協会公表）と引き続き順調に推移しております。

このような経済状況の中、当社グループは、今後の企業価値向上を目指し、前連結会計年度より積極的に新規事業の開始及びM&Aによる事業拡張を円滑かつ効率的に行えるよう企業再編を実施し、新たな事業ポートフォリオを構築し、業容の拡大及び、事業リスクの分散を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、従来からの主力事業であるコンテンツ事業における電子書籍の販売が堅調に推移したことに加え、投資銀行事業の収益が連結業績に寄与したことにより前連結会計年度に引き続き、営業利益及び当期純利益を確保致しました。

この結果、当社グループの連結業績につきましては、営業収益146,857千円（前年同四半期比26.8%減）、営業利益2,850千円（前年同四半期は営業損失55,606千円）、経常利益9,336千円（前年同四半期は経常損失68,896千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,896千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失69,563千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間から、「フィールドサービス」及び「不動産」について量的な重要性が低下したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。また、当第1四半期連結累計期間から、「金融」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業では、電子書籍サイト「モビぶっく」において適切なプロモーションを継続的に実施し、前第1四半期累計期間より売上は減少しているものの利益は確保。オウンドメディア「Verygood」では当サイトへの月間50万人超ユーザーに向けた広告収入を継続して獲得しております。

一方、スマートフォンアプリの配信については、前連結会計年度において引当金を計上するなどの処理でサービス開始後に不具合が生じたアプリについては当連結会計年度への影響は無く、KDDIのauスマートパスは新規アプリの追加配信などで増収増益となりました。

この結果、当該事業の売上高は80,719千円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント利益は9,640千円（前年同四半期はセグメント損失1,334千円）となりました。

②金融事業

金融事業では、主に個人への貸付回収によるもので、業務受託案件の終了もあり売上・利益ともに大きく減少しております。

この結果、売上高は1,040千円（前年同四半期比93.2%減）、セグメント損失は15,204千円（前年同四半期はセグメント利益2,935千円）となりました。

③投資銀行事業

投資銀行事業では、主に他社への紹介等を行うM&A等のアドバイザー業務による収益が大幅に拡大しました。

この結果、売上高は59,703千円（前年同四半期比8,497.3%増）、セグメント利益は52,182千円（前年同四半期比7,658.7%増）となりました。

④その他の事業

その他の事業では、不動産業等を中心に事業展開いたしました。

この結果、売上高は5,391千円（前年同四半期比94.7%減）、セグメント利益は510千円（前年同四半期はセグメント損失9,074千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①総資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて439,299千円増加し1,644,721千円となりました。主な要因と致しましては、子会社取得による現金の減少310,000千円及び子会社新規連結による資産の増加718,305千円があったことによります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて436,237千円増加し745,899千円となりました。主な要因と致しましては、子会社新規連結による負債の増加446,689千円があったことによります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて3,062千円増加し898,821千円となりました。要因と致しましては、親会社株主に帰属する四半期純利益3,896千円を計上したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	334,886	266,047
受取手形及び売掛金	53,168	332,139
営業貸付金	42,896	40,774
短期貸付金	284,366	142,140
前渡金	31,214	33,619
未収消費税等	16,596	19,688
その他	12,728	188,014
貸倒引当金	△7,015	△7,965
流動資産合計	768,842	1,014,458
固定資産		
有形固定資産	2,366	22,313
無形固定資産		
ソフトウェア	14,482	15,116
のれん	—	51,775
その他	3,238	3,149
無形固定資産合計	17,720	70,040
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	60,000
敷金	9,022	78,621
長期貸付金	109,192	109,192
長期未収入金	46,387	72,247
投資不動産(純額)	280,786	302,461
その他	0	0
貸倒引当金	△58,897	△84,615
投資その他の資産合計	416,492	537,908
固定資産合計	436,579	630,262
資産合計	1,205,421	1,644,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,484	124,164
未払金	19,178	69,202
未払法人税等	18,558	9,592
1年内返済予定の長期借入金	6,176	110,597
事業整理損失引当金	25,508	22,536
組織再編引当金	12,133	12,133
その他	19,708	19,455
流動負債合計	122,748	367,682
固定負債		
長期借入金	169,154	363,361
利息返還損失引当金	17,758	14,856
固定負債合計	186,913	378,217
負債合計	309,662	745,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	525,289	525,289
資本剰余金	1,623,803	1,623,803
利益剰余金	△1,257,510	△1,253,613
自己株式	△2,292	△2,443
株主資本合計	889,291	893,035
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△455	△1,120
その他の包括利益累計額合計	△455	△1,120
新株予約権	6,682	6,682
非支配株主持分	240	223
純資産合計	895,759	898,821
負債純資産合計	1,205,421	1,644,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
営業収益		
売上高	185,209	140,539
その他の営業収益	15,387	6,318
営業収益合計	200,597	146,857
営業原価		
売上原価	132,743	30,171
その他の原価	—	4,467
営業原価合計	132,743	34,639
売上総利益	67,854	112,217
販売費及び一般管理費	123,461	109,367
営業利益又は営業損失(△)	△55,606	2,850
営業外収益		
受取利息	426	4,440
雑収入	212	—
助成金収入	1,000	—
利息返還損失引当金戻入額	834	2,772
その他	314	117
営業外収益合計	2,789	7,330
営業外費用		
為替差損	—	654
貸倒引当金繰入額	12,889	179
社債利息	2,246	—
その他	943	10
営業外費用合計	16,079	844
経常利益又は経常損失(△)	△68,896	9,336
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△68,896	9,336
法人税、住民税及び事業税	666	5,440
法人税等合計	666	5,440
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,563	3,896
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,563	3,896

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,563	3,896
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△949	△691
その他の包括利益合計	△949	△691
四半期包括利益	△70,513	3,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,498	3,231
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成28年3月22日付で、Jトラストベンチャーキャピタル合同会社より、新株予約権198,000千円の行使請求による払込み及び、転換社債型新株予約権付社債200,000千円の転換請求を受けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が202,509千円、資本準備金が202,509千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が502,509千円、資本準備金が402,509千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ブレイクの株式を新たに取得したため、同社並びに同社の子会社である布雷克有限公司を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日 至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	コンテンツ	金融	投資銀行		
売上高					
外部顧客への売上高	83,267	15,387	694	101,247	200,597
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	83,267	15,387	694	101,247	200,597
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	△1,344	2,935	672	△9,074	△6,810

（単位：千円）

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	200,597
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—
計	—	200,597
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	△48,795	△55,606

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、配信許諾、物販事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△48,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成29年1月1日 至平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	コンテンツ	金融	投資銀行		
売上高					
外部顧客への売上高	80,719	1,040	59,703	5,391	146,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	80,719	1,040	59,703	5,391	146,854
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	9,640	△15,204	52,182	510	47,128

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	2	146,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—
計	2	146,857
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	△44,277	2,850

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、配信許諾、物販事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△44,277千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

株式会社ブレイクを連結子会社としたことに伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事業によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、「その他事業」セグメントにおいて51,775千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間から、「フィールドサービス」及び「不動産」について量的な重要性が低下したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。また、当第1四半期連結累計期間から、「金融」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間のセグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。